

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組01-02	MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想の実施 (2)奥松島「絆」ソーラーパークおよび東松島「絆」カーポートソーラー														
②対応する目標・課題	【環境】(低炭素・エネルギー) 再生可能エネルギーに基づく、自立分散型電源の構築															
③対応する評価指標・目標値	■評価指標01:市内自然エネルギー発電量/市内電力消費量(%)	■目標値:1%未満(H23年度推定値) ⇒ 20%(H28年度末)														
	■評価指標02:ひとり当たり年間温室効果ガス排出量(t-CO2/人・年)	■目標値:4.1t(H21年度推計) ⇒ 20%減(H28年度:H22年度比)														
④取組内容	<p>環境未来都市構想の計画事業として位置づけしている分散型地域エネルギー自立都市プロジェクトの一つとして、被災地の有効な土地利用を図り、かつ非常時災害時に分散型発電所として市民に電力の供給を可能にするため、メガソーラー事業及び市内公共施設へのカーポート設置型太陽光発電設備の導入を行う。</p> <p>奥松島「絆」ソーラーパークにおいては、発電量やCO2削減効果を分かりやすく紹介する観光教育施設を整備し、環境教育施設としての位置づけを行うとともに、清掃業務や敷材の地元材料使用などで市内発注を推進し、地域への貢献を目指す。</p> <p>【奥松島「絆」ソーラーパーク】 発電容量:1,990kW (約2メガワット) 発電量:年間 約210万kW (一般家庭約600世帯分の年間使用電力量相当) 環境効果:年間 約1,000tのCO2削減 (一般家庭約200世帯分の年間排出量に相当)</p> <p>【東松島「絆」カーポートソーラー】 市内3か所の防災拠点となる公共施設に、カーポート型の太陽光発電設備を導入。通常時はカーポートやイベント時のスペースとして自治体の負担なく活用し、売電を行う。災害等の停電時には、非常用電源として直接給電を行う。 東松島市コミュニティセンター前駐車場 約180kW 東松島市鷹来の森運動公園駐車場 約63kW 大塩市民センター駐車場 約26kW 合計:約269kW</p>															
⑤エリア	<p>【奥松島「絆」ソーラーパーク】 東松島市奥松島公園跡地の一部(約47,000㎡)</p> <p>【東松島「絆」カーポートソーラー】 東松島市コミュニティセンター前駐車場、東松島市鷹来の森運動公園駐車場、大塩市民センター駐車場</p>															
⑥主体	<p>2012～2014:三井物産株式会社(東松島市復興事業提案制度に基づく企業提案事業) 2015.4～:トランスバリュー信託㈱(現楽天信託㈱)</p>															
⑦活用した国等の制度																
⑧地域の関与	<p>地域エネルギービジョンに基づく地域の取組 除草や太陽光パネルの清掃の市内発注 敷材の地元材料使用 市民ファンド組成により、事業収益が地域内で循環する仕組みを構築</p>															
⑨スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td>市・事業者において、被災地支援事業としてメガソーラー計画・用地・グリットの検討・調整</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>復興事業制度提案、各種許認可等申請手続き、メガソーラー及びカーポート型工事着工(平成25年1月) カーポート型運転開始(平成25年3月)</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>メガソーラー運転開始(平成25年8月)</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>可能性調査・技術検討 等 三井物産㈱からトランスバリュー信託㈱(現楽天信託㈱)へ権利移譲。その際、市民ファンドを組成</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>可能性調査・技術検討 等</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>可能性調査・技術検討 等</td> </tr> <tr> <td>29年度以降</td> <td></td> </tr> </table>		23年度	市・事業者において、被災地支援事業としてメガソーラー計画・用地・グリットの検討・調整	24年度	復興事業制度提案、各種許認可等申請手続き、メガソーラー及びカーポート型工事着工(平成25年1月) カーポート型運転開始(平成25年3月)	25年度	メガソーラー運転開始(平成25年8月)	26年度	可能性調査・技術検討 等 三井物産㈱からトランスバリュー信託㈱(現楽天信託㈱)へ権利移譲。その際、市民ファンドを組成	27年度	可能性調査・技術検討 等	28年度	可能性調査・技術検討 等	29年度以降	
23年度	市・事業者において、被災地支援事業としてメガソーラー計画・用地・グリットの検討・調整															
24年度	復興事業制度提案、各種許認可等申請手続き、メガソーラー及びカーポート型工事着工(平成25年1月) カーポート型運転開始(平成25年3月)															
25年度	メガソーラー運転開始(平成25年8月)															
26年度	可能性調査・技術検討 等 三井物産㈱からトランスバリュー信託㈱(現楽天信託㈱)へ権利移譲。その際、市民ファンドを組成															
27年度	可能性調査・技術検討 等															
28年度	可能性調査・技術検討 等															
29年度以降																
⑩他の取組との連携	<p>1. MATSUSHIMA自然エネルギーパーク構想の先行的な取組として支柱のひとつを成すとともに、2. ネット・ゼロ・エネルギーシティの実現においても同様の役割を果たす。また、取り組みのシンボリックな存在として、地域への普及・啓発活動に寄与する。</p>															
⑪自立・自律の方針・目標	<p>固定価格買取制度に基づき、事業採算性を見込んだメガソーラー事業の売電収入により、設置コストの回収・運営費用の創出が図られる。 大手資本と協働することにより、初期資金確保、専門的知見等の初期リスクを低減し稼働、安定稼働の後に、市民ファンドを組成し、地域資本により再取得することで、地域内で資金が循環する仕組みが構築される。この手法はメガソーラー事業に限らず、REITが見込まれる様々な地方プロジェクトにおいて展開可能なPPP手法である。</p>															